

吹田市下水道事業経営戦略2019改訂版(素案)に対する提出意見と市の考え方について

- 1 提出期間 令和6年(2024年)1月25日(木曜日)～
令和6年(2024年)2月26日(月曜日)
- 2 提出意見数 2件(1通)
- 3 提出意見と市の考え方 以下のとおり

	提出意見 ※	市の考え方
1	<p>老朽化してきたら特に、上町断層帯の震度6地域が分流式の方がいいと思う。復旧に手間がかかる。【1件】</p>	<p>下水の排除方式には、雨水を河川へ放流する雨水管と汚水を下水処理場へ流す污水管を分けて敷設する分流式と、その両方を一つの合流管で行う合流式がありますが、本市においては、処理区毎に方式が異なります。</p> <p>合流式の処理区を分流式に変更する場合、管路の再整備や下水処理場の分流式への変更などといった施設整備に莫大な経費と時間が必要となります。また、分流式の場合は、污水管と雨水管の両方の管路が破損するケースも想定されることから、一概に合流式に比べて復旧作業が容易であるとは言い切れません。</p> <p>現在、本市では地震対策として管路や下水処理場の耐震化に取り組んでおり、こうした取組を着実に進めてまいります。</p>
2	<p>雨水の量を減らすため、なるべく駐車場を保水力のある芝採用してもらったらどうだろうか【1件】</p>	<p>芝生の維持管理に課題があることから、現在、駐車場の芝生化を促進する施策は検討しておりませんが、本市下水道部では、浸水被害のない安全で快適な都市を目指し、おおむね10年に1回生じる確率降雨(1時間に約50mmの降雨)に対応できるよう、雨水管整備や雨水貯留浸透施設の設置等による雨水排除施設の整備を進めているところです。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

※提出意見において不明瞭な部分があったため、一部、類推して表記しています。